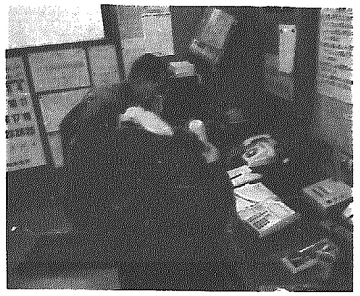
横越村消防団が火災発生時の出動訓練



二月十二日に横越村消防団が火災発生時の出動訓練を実施しました。

これは一月十四日に発生した横越の延楽荘の火災の際、有線放送施設の機能的な問題もあり、消防団への出動要請がうまく行かなかったことをふまえて、連絡手段・連絡系統の見直しを行ったものです。

まず、横越消防団自動車部員に対しては専用連絡回線を使って出動要請を行い、各分団への出動要請は団長、副団長を介して電話回線を使って、同時に有線放送による周知をし、出動までの所要時間の確認を行うというものです。

訓練後、参加した消防団関係者は、一刻を争う消化活動のため、より迅速・確実な連絡体制確立のための検討を行い訓練を終了しました。

なお、災害発生時、役場に電話による問い合わせが集中しますが、これは災害処理活動の妨げにもなりますので、くれぐれもご遠慮くださるようお願いします。

横越小学校で雪ん子祭り

テレビを使っての集会

横越小学校の風の子児童会主催による雪ん子祭りが、二月十四日に行われました。これは例年二月三日に行う予定だったものが、インフルエンザの大流行のため延期となったものです。

この祭りは、子供たちの企画により運営されるもので、今年は体育館の増築工事もあり、テレビ放送を使っての集会となりました。

子供たちは教室に集まってテレビを見ながら校長先生の話や節分の話、ゲームの説明を聞きました。

今年のゲームは全校舎を使ったウォークラリー。清掃班を主体とした、学年男女が混ざるように編成された百六のグループは、校舎内のあちらこちらに貼られた三十問の問題に挑戦。中には途中で迷子になる子もいましたが、皆で協力しながらゲームを楽しみました。

保育園で豆まき

二月三日に村内の四保育園でも節分の豆まきが行われました。

園長から節分のお話を聞いたあと、赤鬼が登場。「弱虫はいないか。わがままな子はいないか」と叫ぶ鬼に園児たちは悲鳴を上げ逃げ回っていました。その後、福の神が登場し鬼を追い払い園児たちも一安心。

年長のお兄さん、お姉さんが年男、年女の替わりになって元気良く豆まきを行いました。

二本木地区で懇談会を開催

二月十四日に二本木公会堂で地元自治会関係者、土地改良区と村の懇談会が行われました。

村からは村長、助役はじめ、総務課長、企画観光課長、建設企業課長が出席しました。おもな議題としては二本木地区と横越地区を最短距離で結ぶ村道整備について陳情がされました。これは、現在ある村道が砂利道であることから、車の走行により農地に砂利が入り、農作業に支障が生じています。また、将来計画されている二本木地区にJRの新駅実現の際には、横越地区の通勤・通学が便利になることから横越町の実現、発展のためにこの道路の整備は不可欠だというものです。

村からは調査検討するとの回答がされました。

村史編さんだより ⑨

明治34年（1901年）11月、当時の中蒲原郡内にあった横越村（630戸）、沢海村（300戸）、木津村（180戸）、二本木村（180戸）小杉村（220戸）の5ケ村が合併し、現在の横越村が誕生しました。

当時の国内では100戸未満の町村が全体の7割を占め、一町村当たりの人口が550人にも及ばないところもありました。なかでも新潟県は内務省統計報告（明治21年12月末現在）によると、県内保有のこま切れ町村数は実に4819町村で全国第1位。市制施行は新潟市（明治22年4月から）のみという状況でした（現在の県内市町村数は112）。中蒲原郡内でも明治22年3月末現在で343町村がありました。今とは比べものにならない程多くの町村が独立して存在していたことが数字の上からも明らかです。みなさんもよくご存知の大字等の名称は、元々一つの村の名称であったものが多いことがお分かりになると思います。

村史編さんのお問い合わせは中央公民館内村史編さん室

☎ 385－4431

伊藤文吉氏がヘルパー用自動車等を寄付

一月二十六日伊藤文吉氏が、役場を訪れ村にホームヘルパー用乗用車一台と車椅子二台を寄贈されました。

これは昨年十一月十一日に亡くなられた伊藤竹子さんの香典返しとして寄付されたものです。

村ではさっそく伊藤氏のご意向に従って、村社会福祉協議会に伝達しました。

ご厚志に感謝します。

平成八年歌会始のお題及び詠進歌の詠進要領

■平成八年歌会始のお題

「苗」と定められました。

■詠進歌の詠進要領

①詠進歌は自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。

②用紙は半紙（和紙）とし、毛筆で自分で書いてください。ただし、海外から詠進する場合は用紙は自由です。また毛筆でなくてもかまいません。

③病気または身体障害のため自分で書くことができない場合は、他人が代筆しても問題はありません。ただし、その場合は、別の紙に代筆の理由、代筆者の住所及び氏名を書いて、詠進歌に添えてください。なお、視覚障害の方は、点字で詠進しても結講です。

④書式は半紙を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、氏名（本名、ふりがなつき）、生年月日、職業（なるべく具体的に）を、縦書きで書いてください（書式図参照）。

無職の場合は、「無職」と書いてください（以前に職業に就いたことがある場合には、なるべく元の職業を書いてください）。なお、主婦の場合は、単に「主婦」と書いてもかまいません。

■詠進の期間

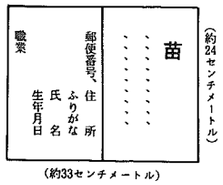
お題の発表の日から九月三十日までです。郵送の場合は、消印が九月三十日までのものを有効とします。

■郵便のあて先

「〒100 東京都千代田区千代田一番一号 宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。詠進歌は、小さく折って封入しても結構です。

質問があれば、直接、宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて、九月二十日までにお問い合わせください

書式図



3月の中央公民館事業

（☎385－2043）

社会教育ガイド

＜会場は中央公民館＞

■女性教養セミナー

期日　3月25日（土）

時間　午前9時30分～11時30分

講師　高橋ハナ氏

■英会話教室

期日　毎週火曜日

時間　午後7時

社会体育ガイド

■ジュニアバレーボール教室

期日　毎週水・土曜日

会場　横越小学校体育館

■ヨーガ教室

日時　昼の部　第1・第3木曜日　午後1時30分

夜の部　第2・第4火曜日　午後7時30分

講師　伊藤千賀氏

会場　中央公民館

■フォークダンス教室

期日　毎週第1・第4金曜日

時間　午後7時30分

講師　遠藤柳子氏

会場　中央公民館

俳句募集

▼句　題　麗か、春田、鶯

▼締切日　3月20日（月）

▼投稿方法　はがきまたは封書で6句以内、紙上筆名の際も原稿末尾には本名、年齢、住所を明記

▼あて先　横越村中央公民館「文芸作品係」

スポーツ少年団 平成7年度団員募集

▼募集団体

・野球少年団

・剣道少年団

・サッカー少年団

・バレーボール少年団

▼団員資格　原則として小学四年生から六年生までの男女

▼登録料　年間三千円

▼団費　各少年団で異なります

▼受付期限　3月22日(水)

▼お問い合わせ・申し込み　中央公民館内スポーツ少年団事務局

総合体育館トレーニング器具利用講習会

総合体育館に備えてあるトレーニング器具の操作や利用方法について講習会を開催します。

▼開催日　3月13日(月)、26日(日)

▼開催時間

・午前の部10時～12時

・午後の部1時～3時

・夜間の部7時～9時

▼その他　受講希望者は事前に申し込んでください。

※中学生以下は受講できません

▼お問い合わせ・申し込み　中央公民館内社会教育課

阿賀野川 今昔いろはカルタ③

れ 礼節も食を満たせし阿賀野川

そ 空暑く葦原さざよう向こふ岸

つ 恙虫何んで阿賀野の川敷に

ね 年頭の初日を拝む阿賀の土堤

な 菜の花に霞たなびく阿賀の堤

ら 乱世もすべて知り来し阿賀野川

む 村思う心は故里阿賀野川

う 牛つなぐ阿賀堤敷の草青し

（作者　五十嵐要栄智さん）